



# 碧南ロータリークラブ週報

第2397回例会 平成20年2月13日(水)

● 会長 鈴木 敏弘 ● 幹事 石橋 嘉彦 ● 会場監督 (SAA) 新美 宗和

■ 例会日 毎週水曜日 12:30

■ 例会場 碧南商工会議所ホール

■ 事務局 碧南商工会議所内

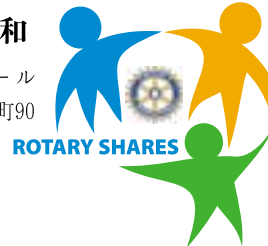
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)

■ 会報委員 新美 惣英・長田 和徳・平岩 辰之・杉田 茂



2007~2008年度  
国際ロータリーのテーマ

ロータリーは  
分かち合いの心

## ● 斉 唱

ロータリーソング「我らの生業」

## ● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

## 会 長 挨 拶



鈴木 敏弘会長

上用さんは、当地区選出の小林秀央県議先生より、御紹介を頂き岡本明弘プログラム委員長と共に会社訪問をさせて頂き卓話のお願いをして参りました。

上用さんは名前が全く同じの方とお会いしたのは初めてだと言われ、私自身も近寄り難い方には無いと思い、ホットした気持ちになった次第です。後に岡本プログラム委員長より詳しくご紹介されると存じますので宜しくお願い致します。又小林先生は本日所用の為、皆様に宜しくと言うおことづけを頂いておりますのでお伝え申し上げます。

2月9日(土)安城ロータリークラブ創立50周年記念式典が開催され、石橋幹事と共に出席しお祝いを申し上げて来ました。当日はご存じの如く、式典が始まる頃より大雪になりまして、帰りには大変心配した次第です。

先般RI2760地区西三河分区の名前の変更について(いわゆる西三河分区→南西三河分区)皆様に申し上げましたが、この西三河分区(9クラブ)の中で3クラブより変更について反対があり金子ガバナー補佐は、今まで通り変更しないと言う事で当クラブにご案内がありました。

本日2月13日(水)10時より第2回碧南市共同募金委員会が開催され平成19年度碧南市共同募金寄付の実績報告がございました。当クラブの会員であり商工会議所会頭の黒田昌司さんが会長であります、この共同募金は10年程前を頂点に年々少しづつ寄付額が減っていましたが、平成19年度は前年度より15万円程増額になったと御礼が述べられました。

因に本年度寄付総額1291万円程であります。当クラブは理事会の承認を頂き一般会計より7万円を寄付させて頂きました。

後日愛知県共同募金会長より感謝状が届くそうです。あおみJセンターより助成金の御礼と米山功労賞第29回目感謝状が届いています。

本日は以上です。宜しくお願い致します。

## 幹 事 報 告

- 他クラブの例会変更並びに第8回理事会報告は幹事報告書の通りです。
- メールボックスに今後の例会変更のお知らせを配布しましたので参照



石橋嘉彦幹事

下さい。

- ・ 3月5日のI.Mの日時場所、三河線利用の方の時刻表及び地図を配布しました。
- ・ 3月26日は移動例会で碧南市藤井達吉現代美術館(旧碧南市商工会議所)にて開催、駐車場の地図を配布しました。

## 副 幹 事 報 告

- ・ 本日メールボックスの中に次年度の役員・理事・委員会編成表を入れて頂きました。



長田 豊治副幹事

### 〈出席奨励委員会〉

|                                 |                 |
|---------------------------------|-----------------|
| 総会員数79名(内出席免除者11名の内出席者8名)出席者68名 |                 |
| 出席対象者 68/76名                    | 出席率 89.74%      |
| 欠席者11名(病欠者1名)                   | 前々回修正出席率 95.59% |

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

## 委 員 会 報 告

### 〈ニコボックス委員会〉

- 縦山 善久君 飾り瓦コンクールのDMをお配りしました。是非2/26～3/2の間お出かけ下さい。
- 鈴木 敏弘君 上用敏弘様本日は大変ご多忙の中卓話よろしくお願い申し上げます。
- 小笠原良治君 昨日第10回碧南市農業振興顕彰表彰式にて奨励特別賞を受賞しました。たいした事をしていないので、いいのかと思いましたが、ありがたく受け取りました。
- 山中 寛紀君 ちょっとイイコトがありました。

## ク ラ ブ フ ォ ー ラ ム

### 「中部国際空港セントレアの近況」

中部国際空港セントレア 執行役員運営副本部長兼空港施設部長 上用 敏弘氏

名前の事を話すと少し変わった名で上用と申し上げます。北海道の出身ですが元は広島出身です。中部国際空港の開港は2005年2月17日で今年の2月でまる3年となります。会社は1998年に設立、今年10周年となります。この空港のプロジェクトは30年ほど前に名古屋に荷物空港等のアイデアが出て、具体的に1985年調査に入り20年を経て開港となりました。



現在の会社は中部国際空港株式会社、300人役職人でグループ会社が1,000人位の規模です。空港には空港会社、警備会社、館内に案内する人等を合わせて空港に勤めている人が10,000人位です。24時間の勤務となりあるシフトでは5,000人～6,000人位が空港で勤務して状況です。皆様のご承知の事と思いますが社長はトヨタから来ています。

会社が出来て以来、平野さんがやって来ましたが昨年平野は会長職となり稲葉が社長職に就任し、稲葉社長もトヨタから来た形です。社員の構成は国、自治体、民間企業からの混成部隊でスタートし現在はプロパーの社員は50%残り国、自治体の出向の人で会社の運営をしている状況です。セントレアは関西空港、成田空港、伊丹空港、羽田空港その他色々な空港がありますが私どもは空港の設置管理者であります、ですから滑走路とか誘導路とかエプロンとか旅客ターミナルビル等を管理しておりますが航空機の離発着の管制の業務は国(国土交通省)が行っており税関等も国の機関が行っております。収支割合は関西空港より民間色が強く、出資の半分を民間から集っ

ています。今アジアの主要都市では空港の建設ラッシュになりっております。中部国際空港では1本の滑走路のみの現状で将来は複数の滑走路を検討しています。私どもの空港エリアは東海地区及び北陸地区、東に行きますと成田空港がありますし、西に行きますと関西空港があります。

各都道府県の人口に対しての日本人の出国者割合は、東京都.神奈川県では1,000万人あたりの人口に対して20%の200万人が観光及びビジネス等で出国しています。次は関西地区、中部地区の順です。首都圏、関西圏は人口も多く出国者率も高く中部圏では愛知県は700万人で20%の出国率ですがまだまだ首都圏に比べ市場としては小さい状況の中で私どもは空港を運営しています。

我が国の空港行政はやはり成田.羽田の問題と関西空港に力点を置いて航空局あたりから見てもセントレアなどは優先順位は下の方です。日本の場合首都圏、関西圏の空港整備に大きな力点が置かれています。

空港のお客様の満足度を評価しています。世界主要空港60から70が参加して国際旅客の方よりアンケートとして点数をつけて頂き年4回実施しそれを集計しその年の評価の一番高い空港選定をしています。私ども空港は開港以降お客様の満足度ナンバーワンを目指し経営の柱の一つにして参画しております。2005年2006年は全体では5位、6位ですが年間の旅客数500万人から1,500万人のクラス別の順位では連続して1位を頂いています。世界で一番評価の高い空港は仁川空港です。ターミナルが奇麗かトイレが奇麗かどうか、空港のアクセスがどうか、食事がすぐに食べられるか、保安上に問題が無いか、20数項目聞いて、5段階評価で聞きます。自国の方.外国人をある比率で混ぜ表を集めて評価します。

世界で一番の評価を頂ける様私どもの会社だけ出来るものではありませんので、空港内の関係会社の皆様協力のもと満足度世界一を目指そうとして取り組んでいます。

航空機も今新しい機材の開発に向かっています。ボーイングは次の中型機ボーイング787型機の生産を始めています。これは日本で翼を中心に全体の3分の1を日本の企業で担当する、それをシアトルの組み立て工場に世界から部品を集めて組み立てをする。愛知県内の工場生産された物はセントレアまで持って来まして特別に仕立てた貨物輸送機で今運んでいるという事です。そろそろ生産もスタートして一番機を各航空機会社に収めることなんですが少し遅れています。今の利用状況は旅客、国内線ではセントレア開港前の名古屋空港週220便の定期便があったものが開港時に260便と順調に伸びています。貨物については名古屋空港比べるとセントレアになって大幅に便が増加しています。国際旅客は微増の状況です。

会社の売上は現在530億位で10億の黒字です。年間の離発着が10万回あり、開港3年を経過しますので30万回の離発着の内欠航したのが約4,000便で率から1.4%と言う事です。セントレアの天候で欠航は0.1%位です。

二本目の滑走路を造る時には天候の配慮し協議しております。

今後のいくつか課題は、定期便の減少、この要因は燃料費の高騰によりエアラインの体力が非常に落ちて来ています。

これは昨年実施しましたビジネスミーティングは航空貨物が減少の為これに対応しようと昨年からはじめました。開港頃はこのような営業努力は行っていません。最後に24時間化に向けて、昨年からは2本の滑走路そろそろ整備すべきではないか言うような動きが地域の中で起きておりまして、これから国の計画が今年も次々と策定すると予定がありますがその計画の中に位置づける一つ働きかけですし、もう一つは具体的な計画を地域として固めて行くことこれからやって行こう事です。そろそろ滑走路の処理能力上に限界が来て新しい便も時間変更を依頼しながらやっているとあります。処理能力上もピーク時間は対応必要であります。等々を考えますと世界の主要な空港が一本の滑走路で行っている空港はありませんので出来るだけ早く2本の滑走路計画の一步を踏み出したところです。

次回例会案内 平成20年2月27日(水)

「私の履歴書」 会員 矢埜 隆君